

自然由来重金属問題セミナー [仙台開催] プログラム

主催：協同組合地盤環境技術研究センター
自然由来重金属類評価研究会

共催：東北地質調査業協会
東北土壌環境ネットワーク

日時：平成 20 年 6 月 13 日（金） 13：00 ～ 16：30

場所：仙台国際センター 白樺 1

仙台市青葉区青葉山無番地

TEL：022-265-2211

司会 協同組合地盤環境技術研究センター
理事 西田 道夫

※ 開会の挨拶 13：00～13：05

東北地質調査業協会 理事長

早坂 功氏〔株式会社 テクノ長谷 代表取締役社長〕

1 自然由来の土地汚染と不動産取引 13：05～13：50

本間 勝（不動産学博士、明海大学不動産学部専任講師）

【概要】人為的汚染をとまなう不動産をめぐる損害賠償訴訟や不動産価値の減価が発生し、不動産取引に障害となる事例が既に発生している。さらに土壌汚染対策法の適用外である自然由来による砒素や鉛による土地汚染によっても、不動産取引上のトラブルが発生している。ブラウン・フィールド問題や不動産鑑定評価の動向を踏まえ、このような問題をどのように取り扱うべきか考察する。

2 自然由来の土壌・地下水汚染調査の実際例 13：50～14：35

成沢 昇（地質汚染診断士、財）日本ガス機器検査協会・環境調査部

【概要】土壌汚染対策法における自然由来汚染の考え方（特に、バックグラウンドが高い場合など）や、自然由来汚染が想定された場合の調査の流れを、実際の調査例を紹介しながら説明する。

休 憩 14：35～14：50

3 自然由来重金属汚染の実態とその評価 14：50～15：40

丸茂克美（理学博士、産業技術総合研究所・地質情報研究部門）

【概要】自然由来の重金属は層内での分布様式や存在形態を、さまざまな手法を組み合わせて調査することによってその実体を正しく評価することができる。最新の蛍光X線分析装置などを使用した重金属の詳細調査手法にもとづき、人為的汚染と自然由来重金属の化学的な識別例や現場評価への適用性について説明する。

4 自然由来の重金属汚染発生土の措置対策と再利用の提案 15：40～16：25

和田信彦（技術士、同）地水環境コンサル 代表

【概要】全国各地で発生する土壌汚染対策法適用外の自然的原因の重金属汚染発生土の効率的な措置対策と再利用について提案し、併せて大都市圏の地下に普遍的に分布する自然由来重金属汚染土壌の措置についても触れる。

※ 閉会の挨拶 16：25～16：30

協同組合地盤環境技術研究センター 理事 西田 道夫